

2010年度 社団法人神奈川県社会福祉士会 事業報告書

はじめに

2010年度の本会は会員数2000名を超える組織として、その規模にふさわしい会の在り方や、事業の在り方をさまざまな取り組みを通して、模索してきた一年だった。前年から設置されていた研修体系化委員会による地道な整備により、2010年度の研修の開催においては、主催の各委員会等でスムーズな連携や開催日の調整が行われるようになり、このことは来たる生涯研修センターの設置に向かい、重要な基礎を形成したと言える。

また、新公益法人準備委員会からは会員に向けて、説明会や広報誌上で多くのメッセージを発信し2011年度の本格的な準備につながる動きを続けてきた。そして、将来ビジョン検討会からは、その公益法人化を含め本会の進むべき方向について、これまでの本会の10年間の歩みを整理し、さらなる発展に向けて課題をまとめた報告書（骨子）が示された。これは本会の方向性について大きな布石となるものである。

従来委員会・事業部会においては、それぞれの年間報告にもあるように、全体を通して事業計画に沿って活動を展開し、成果を挙げてきた。ばあとなあ神奈川は、発足10年目を迎える節目でもあり、軌跡を振り返り関係者による座談会を開催し、3月には10年間の歩みをまとめた記念誌「10年のあゆみ」の発刊にも至った。

支部活動においては、本年度も多くの会員の力添えに支えられ、研修会等活発な活動が行われた。支部役員連絡会も各支部を持ち回りで開催することが定着し、支部の地域性や活動が、より良く見える一助となった。

本会の新しい事業としては、前年から取り組みを続けてきていた「触法の高齢者・障害者等の支援」に関する更生保護の勉強会の活動が実を結び、神奈川県からの受託により「地域生活定着支援センター」を12月から発足したことが挙げられる。2011年度の委託継続にも至り、今後も支援ネットワークの充実をより一層図っていくことが本会に期待されている。

その他、事業とは別になるが、2010年度末の3月に起きた未曾有の災害、東日本大震災に対し、本会は対策本部を立ち上げ、相談をはじめとする支援活動を展開している。復興に向けた取り組みが、長期化することが予測される今、社会福祉士による支援活動も、必要とされる支援の変化に応じた対策を、講じていかなければならない状況にある。これからも取り組みを続けていく予定である。

このような1年間の歩みを踏まえ、今後も社会のさまざまな分野の、あらゆる社会問題に対し、社会福祉士の活動が柔軟に果敢に展開されるよう、より充実した組織となることを目指していきたい。

<重点事業への取り組みと成果>

1. ばあとなあ神奈川の運営体制の充実

受任件数の増加に伴う運営体制の見直しを図り、支部委託研修、相談事業、申立支援などの運営についてもあり方を見直すことを目標に掲げ、様々な取り組みを行った。地区コーディネーターの配置を行ったことは、後見人決定までの迅速化を図る上で大きな貢献があった。また、後見事務基礎からの研修会やフォローアップ研修も開催し、後見人の質の担保や資質向上への体制作りを充実させるよう努力した。

2. リーガルソーシャルワークの取り組み

罪を犯した高齢者・障害者の社会内処遇を支援する活動に積極的に取り組むことを目標に掲げた。更生保護に関する勉強会を継続して行い、12月より神奈川県から本会が事業を受託し、地域生活定着支援センターを発足させることに至った。2011年度も継続して受託することも決定した。

3. 研修体系の確立と社会福祉実践発表大会

研修体系の整備に取り組み、会員の実践や研究の成果を発表する実践発表大会を充実させ、本会の活動の活性化、ひいては組織率の向上にもつながることを目標に掲げた。各委員会主催の研修の開催日や内容については連携や調整をとれる体制が出来るようになり、会の研修会の実施が見えやすくなった。

また実践発表大会には、発表テーマは10題の応募があり、子育てからホームレス支援活動実績報告まで、幅広い会員の活動発表の場となり参加者は90名を超える大会となった。

4. 神奈川県社会福祉士会将来ビジョン検討会

本会の将来ビジョンを見据え、本会の方向性について検討していくことに取組んだ。理事会においては検討の中間報告として様々な提案を行い、また2010年度第2回総会においては、中間報告として、報告書をまとめた。本会の歩みの整理や課題を示した貴重な内容となっている。

〈事業実績〉

1. 成年後見・権利擁護事業の実施（ばあとなあ神奈川）

〈概況〉

2009年度に起こった受任者による被後見人の財産侵害という不祥事に対して、受任をしているばあとなあ部員にひとりひとり面接を行ない、部員の日頃の活動に関する疑問に対応しながら、部員が抱えている課題抽出を行った。そして、再発防止に向けて会員不祥事検証専門委員会調査チームを発足させ調査を進めるとともに、不祥事を起こさない体制づくりの検討を行い、信頼回復に向け成年後見養成研修の更なる充実を神奈川独自で実施した。

さらに、受任者全体の更なる質の向上を図っていく事に取り組んだ。具体的には、受任者に対して、現任者研修を実施した。また、身近な地域での顔の見える相互支援の仕組みを築くために、地区ばあとなあ設置をし、ブロックごとの活動や研修体制を取った。

そして、地区コーディネーター（横浜3・川崎2・その他地区1）の配置を行い、家裁等からの照会案件に対し、申立から後見人等決定までの迅速化を図り、タイムリーに後見人等候補者を推薦出来る体制を整えた。

また、ばあとなあ10周年に際し、運営委員会を中心とした編集企画委員会を立ち上げ、3月には「ばあとなあ10周年史」の発刊に至った。

(1) 成年後見候補者の推薦と後見人受任者への支援活動

- ① 家庭裁判所への後見人候補者名簿の提出 2010年1月現在:287名
 ② 本年度法定後見受任状況 受任中累計353件

	照会件数	【内訳】 現在活動数	閉止	不受理	審判待ち、調整中、申立予定等
2010年度のみ	175	69	18	18	70
本年度末累計件数 (2010年度含む)	783	428	220	60	75

ア 類型および障害別・依頼元別受任状況(2010年度)

(件)

後見類型	後見	保佐	補助	合計	家庭裁判所	市町村	合計
障害別					9	3	86
認知症	85	17	7	109	【内訳】本庁	19	33
知的障害	24	13	2	39	川崎支部	8	8
精神障害	14	4	3	21	横須賀支部	0	合計
その他	5	1	0	6	相模原支部	7	175
合計	128	35	12	175	小田原支部	5	
					東京家裁	0	

イ 申立人別照会状況(2010年度)

(件)

本人	親族	後見人	行政 77			その他 家裁職権、他仕業	合計
			市長	区長	町長		
20	66	9	36	36	5	3	175

【市町村長申立内訳】（カッコ内が件数）

横浜市(区長36)、川崎市(13)、横須賀市(1)、平塚市(5)、小田原市(3)、茅ヶ崎市(1)、相模原市(5)、三浦市(1)、秦野市(1)、厚木市(3)、座間市(2)、寒川町(1)、二宮町(1)、松田町(1)、箱根町(2)、東京都町田市(1)

③ 後見候補者及び後見人受任への支援活動

- ・部員同士の顔の見える関係づくりを目標に、地区活動の支援を行った。
- ・受任者の相談等に対しては、専門員と相談小委員会で対応した。

- ・ 研修小委員会を中心に部員向け研修の充実を図った。

④ 成年後見活動に対する業務監督活動

- ・ 成年後見業務監督委員会運営要綱に基づき、業務監督委員会を平成 22 年 10 月 20 日と平成 23 年 3 月 8 日の 2 回開催した。

⑤ 成年後見人養成研修と登録状況

(社)日本社会福祉士会主催による支部委託研修を実施した。

支部委託成年後見人研修(集合研修)

- ・ 日程:2010年11月27日(土)、12月4・5日(土・日)、2011年1月15・16日(土・日)、2月6日(日)
(全6日間37時間)
- ・ 主な内容:本部カリキュラムに準ずる。成年後見制度及び関連法・身上監護・財産管理・精神医学の各概論・演習、成年後見人実務演習等。本年度は、「ばあとなあ部員に必要な事務」という、ばあとなあ神奈川独自の研修日を一日増やした。
- ・ 講師 :ばあとなあ神奈川部員、家庭裁判所担当者、弁護士、司法書士、精神科医等
- ・ 運営方法:運営委員の支部委託研修実施委員を中心に運営・実施

名簿登録状況:

2010年度支部委託研修 (継続者含む)	受講生	修了生	登録者
	52名	48名	46名

(2) 法人後見

2010年度、新規1件を受任(保佐類型)し、1件が終了した。

後見報酬については計3件の審判があり、それぞれ業務執行者に配分を行った。

法人後見業務執行者の連絡会は9月に実施した。

	後見	保佐	補助	合計
認知症	0	0	0	0
知的障害	4	2	2	8
合計	4	2	2	8

(3) 成年後見人研修等

① 部員全体会

【第1回】・日程:2010年6月19日(土)午後・参加者数49名

- ・ 講演テーマ『かながわ成年後見推進センターあしすとアドバイザースタッフ派遣事業について』
- ・ 講師:田中晃氏(かながわ成年後見推進センター 社会福祉士)
- ・ 全体会テーマ:
 - ① ばあとなあ神奈川報告
 - ・ 地区ばあとなあ&コーディネーター制度について。
 - ・ 不祥事緊急対応面接の実施状況について。
 - ② 地区ごとのサポート体制について情報交換。

【第2回】・日程:2011年3月13日(日)を予定していたが、東日本大震災により延期。

② フォローアップ研修

<初任者研修>・日程:2011年3月20日(日)に開催の予定であったが、東日本大震災により中止。

<現任研修>

ア【ばあとなあ部員としての必要な事務研修】

- ・ 日程:2010年7月10日(土)午後 参加者数15名
- ・ 対象:① 平成2009年度後見人養成研修修了者
② 受講を希望するばあとなあ名簿登録者
- ・ 内容:2月・8月定期報告、インシデントレポートの趣旨の説明と演習。

イ【知的障害者を対象とした後見活動の基礎知識】

- ・ 日程:2010年8月21日(土)午後 参加者数25名 ・社会福祉士 平野光男氏
- ・ 対象:ばあとなあ名簿登録者で、受任中、又は、受任経験のある者
- ・ 内容:知的障害者の特性と障害者をめぐる法制度の理解、支援者との連携

ウ【後見活動に必要な民法の基礎知識】

- ・日程：2010年11月20日（土）午前・参加者数36名 ・講師：弁護士 大野美樹氏
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者で、受任中、又は、受任経験のある者
- ・内容：後見活動に必要な民法34条の1について事例を中心に講義形式で学ぶ。

エ『後見事例の検討』

- ・日程：2010年12月18日（土）午後 ・参加者数：21名
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者で、受任中、又は、受任経験のある者
- ・内容：ばあとなあ部員による高齢・知的・精神の受任ケースを基に事例検討

オ『終了の事務』

- ・日程：2011年2月12日（土）午前・参加者数：30名 ・講師：佐々美弥子氏
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者で、受任中、又は、受任経験のある者
- ・内容：「終了の事務」について（講義、事例に基づくディスカッション）

（4）成年後見地域啓発事業（共同募金配分助成事業）

- ① 山北町 成年後見セミナー 開催日：2/27(日)・参加者 150名・場所：山北町立中央公民館
一般市民を対象とした無料相談会及び成年後見セミナーを開催した。
- ② 県内全域 成年後見活用講座 開催日：2/13(日)・参加者 49名・場所：神奈川県社会福祉会館
成年後見制度活用講座は福祉従事者を対象として実施。無料相談会は一般県民も対象に含めて実施した。

（5）権利擁護に関する電話相談事業

開設後9年が経過し、相談内容は、制度の活用方法や後見申立書の記入方法、後見人候補者として社会福祉士の紹介依頼に加えて、相談機関等からの申立支援依頼・会員受任者からの相談に加えて、本人からの相談も増えてきており、内容は多岐に渡っている。

- ・日常的相談事業：研修終了後受任経験者がスキルアップ研修を重ねながら担当している。
- ・面接相談：予約制
- ・電話相談：週3回（火・木・土の14:00～17:00）に行っている。
- ・申立支援相談も対応し、10件を申立支援プロジェクトへつなげた。
- ・年間相談件数：228件（うち面接16件）また、電話相談日以外に事務局へ相談があったものは、専門員が対応した。
- ・相談内容：1位-制度概要、2位-後見人候補者紹介、3位-申立手続き、の順であった。

	月	火	水	木	金	土	合計
2009年度	2	99 (4)	2	80 (1)	3(1)	46(3)	233 (9)
2010年度	0	88 (8)	1	103(3)	0	36(5)	228(16)

（カッコ内は面接件数）

（6）運営委員会活動等

運営委員会の開催については、今年度より原則月1回第二木曜日の開催とした。

① 運営委員会の開催状況

ア 開催数：15回（原則毎月第2木曜日の18：30～20：30）

イ 主な内容

- ・相談、研修企画、法人後見等の運営協議
- ・成年後見受任の迅速化・受任者支援のしくみの検討
- ・他機関への講師派遣・連携、本部、県・市等からの要請事項検討 他
- ・事業方針、予算、事業計画等
- ・不祥事に対する対応

② 小委員会活動（随時開催）

- ・相談小委員会
- ・研修小委員会
- ・法人後見小委員会

（7）他機関主催研修会・相談会等への講師派遣

①2010年度 神奈川県成年後見制度普及事業（神奈川県・神奈川県社会福祉協議会主催）

研修名	日程	講師
-----	----	----

成年後見制度セミナー	7月23日	和田明子
成年後見地域研修会(湘南東部圏域)	2月10日	小野田潤
成年後見地域研修会(湘南西部圏域)	2月7日	池永康子
成年後見地域研修会(県央圏域)	1月19日	那須三朗
成年後見地域研修会(県西圏域)	1月24日	和田明子
親族後見人サポートセミナー	3月5日	和田明子

②横浜市主催：「障害のある方とご家族のための成年後見制度説明会」

港北区	内山信隆	鶴見区	須田幸隆	金沢区	佐々美弥子
緑区	須田幸隆	旭区	前田茂興	磯子区	佐々美弥子
中区	田村左千男	泉区	土谷 勉	戸塚区	尾本重治

③ かながわ権利擁護相談センターアドバイザースタッフの派遣

本年度 11 件派遣依頼があり、ケース検討等の場面に社会福祉士を派遣した。

山北町 (3 回)、藤沢市、大井町 (2 回)、厚木市、伊勢原市、伊勢原市社協、開成町、川崎市麻生区

④その他研修会・相談会等

内容	主催	開催日	派遣者
後見人等就任に向けた基礎研修	川崎市社会福祉協議会	6月10日	長谷川善規
川崎市成年後見制度普及啓発シンポジウム相談会	川崎市	11月13日	武笠太朗
かまくら市民後見人養成研修	鎌倉市	1月19日他	小野田潤 佐々美弥子
創立10周年記念公開シンポジウム	NPO 法人神奈川成年後見サポートセンター	9月10日	齋藤憲磁
成年後見人養成セミナー	(社)成年後見センター・リーガルサポート	10月30日	鈴木真理子
障害者関係団体研修会	神奈川県障害者社会参加推進センター	3月1日	尾亦恒夫
成年後見制度セミナー	横浜支部港北連絡会	11月13日	内山信隆
老人性認知症処遇困難事例検討会	平塚保健福祉事務所	7月12日他	尾亦恒夫
老人性認知症処遇困難事例検討会	小田原保健福祉事務所	12月15日	和田明子

(8) 他団体・市町村との連携

内容	主催	開催回数	派遣者
平成22年度成年後見制度普及確保委員会	神奈川県	3回	和田明子
平成22年度かながわ成年後見推進センター関係機関連絡会	かながわ成年後見推進センター	3回	和田明子
平成22年度市町村社協成年後見推進委員会	かながわ成年後見推進センター	2回	鈴木雅人
市町村社協後見推進委員会・作業部会	かながわ成年後見推進センター	1回	鈴木雅人
平成22年度横浜家庭裁判所後見係との意見交換会	横浜家庭裁判所	1回	和田明子、西山元弘、 雨宮徹 佐々美弥子
相模原市自立支援協議会権利擁護事業部会	相模原市障害者自立支援協議会	1回	須田 幸隆

成年後見制度普及啓発シンポジウムワーキング委員会、川崎市成年後見制度連絡会	川崎市	1回	武笠太郎、大埜嵩
成年後見制度に関わる情報交換会	相模原市	1回	高島さち子、小埜和宏
横浜市成年後見制度関係機関連絡会	横浜市	1回	和田明子 吉田綾
かまくら成年後見制度連絡会	鎌倉市	1回	石井美智子
綾瀬市社協法人後見事業立ち上げ準備会	綾瀬市社会福祉協議会	1回	那須三朗
茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク連絡協議会	茅ヶ崎市	6回	小野田潤、長谷川栄子、内藤美幸

・ 横浜市成年後見サポートネット(横浜市内各区)

各区の成年後見に関する事例検討会に、社会福祉士延べ 18 名が弁護士会・司法書士会等と共に出席し助言等に当たった。

鶴見区	古橋良伸	神奈川区	高島さち子	西 区	佐々美弥子
中 区	田村左千男	南 区	鈴木雅人	港南区	荒井 薫
保土ヶ谷区	吉田綾	旭 区	前田茂興	磯子区	佐々美弥子
金沢区	佐々美弥子	港北 区	内山信隆	緑 区	須田幸隆
青葉区	岡部玲子	都 築 区	吉田千代	戸塚区	尾本重治
栄 区	榎原みさ子	泉 区	鈴木雅人	瀬谷区	新津眞二

2. 成年後見活動の適正な執行

<目的>

ばあとなあ会員が受任した成年後見人及び監督人の業務内容の監督、及び本会が法人後見人として受任している業務の監査を実施する目的で、外部委員 4 名と本会員 1 名の計 5 名で構成される成年後見業務監督委員会を設置している。

(1) 委員会の開催

① 第 1 回 (2010 年 10 月 20 日開催)

当日の委員会では、①ばあとなあ会員不祥事案件による「会員不祥事検証専門委員会調査チーム」より経過報告、②後見活動定期報告として、2 月度報告と 8 月度状況について報告。③ばあとなあ神奈川法定後見照会及び受任状況の報告。④ばあとなあ神奈川法人後見の状況報告が行われ、財産管理の仕方、報酬付与申立の機関等について意見交換が行われた。

② 第 2 回 (2011 年 3 月 8 日開催)

来期の委員の選任について確認を行った後、①「会員不祥事検証専門委員会」及び「同、調査チーム」よりばあとなあ会員不祥事案件の状況についてその後の経過報告、②2010 年 8 月以降の後見活動の定期報告、③ばあとなあ神奈川法定後見照会及び受任状況の報告、④ばあとなあ神奈川法人後見の状況報告が行われ、今後、弁護士会・司法書士会・精神保健福祉士会・社会福祉士会の 4 士会での、合同事例検討会を開催していく方向で意見交換がされた。

3. 福祉サービス第三者評価事業の実施

(1) 福祉サービス第三者評価事業運営委員会の開催

・本会が福祉サービス第三者評価事業を実施するにあたり、運営委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。

運営委員長：梅田滋 運営副委員長：高島さち子 運営委員：大埜嵩、小泉昇、小泉八重子

計 7 回開催 4/13 6/18 8/5 10/7 11/26 12/17 3/26

(2) 受審希望事業所への対応

・今年度も、神奈川県社会福祉協議会が開発した手法を引き継ぎ、第三者評価事業の普及と実施に努めた。市町村や受審希望事業所を運営委員が訪問し、以下の評価項目・手法の説明を行った。

1. 神奈川県社会福祉士会方式 障害・高齢<グレード1> ガイドライン準拠版
2. 神奈川県社会福祉協議会方式 障害・高齢<グレード2>
3. 神奈川県社会福祉協議会方式 保育版

(3) 第三者評価の実施及び公表

- ・神奈川県社会福祉協議会が開発した評価項目・手法を用いて、評価を行った。

① 第三者評価の実施

- ・下記の9事業所について実施した。

受審事業所	使用評価項目・手法	訪問調査日
しらかば保育園（横須賀市）	県社協方式・保育	7/15
善隣園保育センター（横須賀市）	〃	10/14
相模原市立麻溝保育園（相模原市）	〃	12/ 3
相模原市立相武台保育園（相模原市）	〃	12/15
スターチャイルド<<KSP>>ナーサリー（川崎市）	〃	12/21
すくすく保育園（藤沢市）	〃	12/22
津久井やまゆり園（相模原市）	本会・障害グレード1	7/23
工房ひしめき（鎌倉市）	〃	12/10
貴志園（綾瀬市）	〃	1/28

② 評価決定委員会の開催

- ・上記9事業所調査について、評価決定委員会を開催し、内容を審議した。評価結果は「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構（以下、推進機構）」及び本会ホームページにて公表した。

評価決定委員会委員長 久田則夫氏（日本女子大学教授）

○第1回評価決定委員会 9月14日（火）神奈川県社会福祉会館

1 保育所及び1 障害者施設の評価結果を審議した。

○第2回評価決定委員会 3月4日（金）神奈川県社会福祉会館

5 保育所及び2 障害者施設の評価結果を審議した。

(4) 研修等の実施

- ・本会登録の調査員や会員等を対象にして、以下の研修会を開催した。

「第三者評価研修会」 11月14日（日） 県社会福祉会館

参加者 29名

- | | | |
|---------------------|-------|-----|
| ①神奈川県の第三者評価の仕組みと現状 | 運営委員長 | 梅田滋 |
| ②障害・高齢分野の評価項目・手法の理解 | 運営委員長 | 梅田滋 |
| ③保育分野の評価項目・手法の理解 | 評価調査員 | 守戸修 |
| ④本会の調査員登録の仕組み | 運営委員 | 小泉昇 |

(5) 関係機関との連携、その他

- ・推進機構主催の「評価機関連絡会」（4、12月）に、運営委員及び事務局が参加した。
- ・推進機構主催の「事業者説明会」（厚木市、藤沢市、横浜市にて3回開催）に、運営委員が参加し、本会第三者評価事業の説明を行った。
- ・推進機構主催の「評価調査者との情報交換会」に参加し、本会第三者評価事業の取り組みを紹介した。
- ・推進機構より、新たに障害者グループホーム等の第三者評価の手法が示され、運営委員及び事務局が説明会に参加した。また、本会所属の評価調査員3名が、調査者養成研修（2/10、15）を受講した。
- ・第三者評価説明パンフレット<福祉現場が元気になるお手伝いをします>を作成し関係機関に広く配布した。

4. 神奈川県地域生活定着支援センター事業の実施

2010年12月より、神奈川県からの委託を受け、神奈川県地域生活定着支援センターを開設した。

(1) 開設準備

運営規程、事業計画、個人情報管理に係わる内規、業務に使用する書式全般、センター運営連絡会議設置要綱及び会議議事録、ケア会議設置要綱等の作成等を行った。

(2) 関係各機関（県内外）との連絡調整及び社会資源の開拓、実地調査

運営規程、事業計画、個人情報管理に係わる内規、業務に使用する書式全般、センター運営連絡会議設置要

綱及び会議議事録、ケア会議設置要綱等の作成等を行った。

(3) 対象者支援業務

矯正施設における対象者との面談及び出迎え、行政・医療・金融等各機関との連絡調整及び各種申請、居住先、福祉サービスの利用等を調整した。

・コーディネート 特別調整 10名、一般調整 1名 ・フォローアップ 4名・相談支援 3名

(4) 取材対応及び広報活動

・各関係機関へのセンターパンフレットの送付

・「福祉タイムズ」(県社協)、「かざぐるま」(神奈川県保健福祉局)への寄稿・関係機関等における講演

(5) 会議への参加

・全国地域生活定着支援センター協議会(1/21、2/26、3/19)・日本社会福祉士会主催調査研究事業の報告会(2/16)・横浜市南区役所におけるケア会議(2/28)

5. 地域包括支援センターについての各種事業の推進

(1) 全体会議の開催

委員会運営の統括、各事業の進捗状況の把握、日本社会福祉士会に設置されている地域包括支援センター支援委員会との連携を行うために全体会議を開催した。

計5回開催： 4月24日(土)、7月1日(木)、8月11日(水)、10月25日(月)、12月20日(月)

(2) 県内の地域包括支援センター職員を対象とした研修会の開催

県内の地域包括支援センターの業務に従事する社会福祉士や、その他の職種も対象とした実践力向上を支援するための研修を開催した。

① 8月21日(土) 10:00~13:00 ウィリング横浜 参加者 39名

地域包括支援センター職員初任者研修「地域包括支援センターにおける相談援助技術について」

講師：講師：実践ソーシャルワーク塾 塾長 菊池健志氏、塾生 坂口氏、鈴木氏

② 11月21日(日) 10:00~16:30 ウェルネスさがみはら 参加者 101名 相模原市と共催

地域包括支援センター職員現任者研修「地域包括の実践とチームアプローチ、3職種連携の意義について」

講師：地域包括支援センター業務マニュアル検討委員会 委員 山本繁樹氏、中澤伸氏

(3) 地域包括支援センター運営協議会委員連絡会の開催

県内の各市町村における地域包括支援センター運営協議会の運営内容、課題などを評価し、運営協議会の役割やあり方を検討するために、運営協議会委員連絡会を開催しました。

3月5日(土) 10:00~12:00 ウィリング横浜 参加者 11名

(4) 神奈川県介護支援専門員協会地域連携事業への協力

地域連携委員会 地域包括部会への参加

全5回：6月21日(月)、7月8日(木)、8月12日(木)、11月30日(火)、2月25日(金)

地域包括連携会議への参加

第1回：10月20日(水) 14:00~16:30 西公会堂 参加者 49名「地域包括ケアを理解する」

第2回：1月25日(火) 14:00~16:00 開港記念会館 参加者 44名「地域連携について」

(5) 日本社会福祉士会 地域包括支援センター支援委員会との連携

本部の担当委員会で開催する研修の、県支部への伝達普及を目的とした委員派遣

・ 地域包括支援センター社会福祉士全国実践研究集会への委員派遣

・ 地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修への委員派遣(グループワーク進行支援)

6. 社会福祉士研修会の実施

重点課題である研修体系化の考えを踏まえながら、さまざまな分野で活動する社会福祉士にとって必要な能力を身につけるための研修を企画した。ばあとなあや各委員会、支部、自主活動グループ等との連携を意識しながら、初任者基礎研修、面接技術、倫理綱領、スーパービジョン、貧困問題をテーマにシンポジウム等の研修を開催した。また、実行委員会を組織し共通基盤研修を実施した。

次年度は、研修体系化委員会で検討された内容を踏まえながら、生涯研修センターを立ち上げ、ばあとなあや各

委員会、支部、自主活動グループ等との連携を深め、県士会としての研修の方向性を確立し、実施に移行していく。日本社会福祉士会が新生涯研修制度を実施するにあたり、県士会として開催していく研修の準備も動向に注目しながら進めていく。

※研修体系化委員会：今年度のまとめと生涯研修センター設立に向けた準備を実施（1月19日開催）

※研修企画担当者情報交換会：次年度の研修企画の調整（3月5日開催）

研修体系化委員会の議論の中で、県士会内での研修の日程や内容が重複する場合があります、会員にとって不利益につながっている。より多くの研修に参加できるように、各委員会等の研修担当者間での調整が定期的に行われることが必要との意見が出されていた。この議論を受け、情報交換会を開催した。また、この情報交換会で集約された内容が、一覧表にまとめられホームページ上に掲載されることとなった。

※共通基盤研修実行委員会：さまざまな分野で活動する社会福祉士に必要な社会福祉の共通基盤について「権利擁護」「福祉経営」「地域支援」「相談援助」の4領域を取り上げ開催した。（12月4・5日開催）

委員会：6月1日・7月13日・8月31日・10月19日開催

＜主な活動内容＞

- ・年間を通して、下記のとおり研修を実施した。
- ・研修の企画・運営のため研修委員会を開催した。

研修委員会：4月10日・6月26日・8月29日・10月31日・1月29日開催

＜研修内容＞

研修名・会場	日程・参加者	内容・講師
社会福祉の専門職とは何か。「社会福祉士の倫理綱領、行動規範を通して考える」（神奈川県社会福祉会館）	6月13日(日) 参加者:16人	日本社会福祉士会が2005年度に採択した「社会福祉士の倫理綱領」及び「社会福祉士の行動規範」を用いた研修を企画・実施した。受講者には事前課題提出の上、当日はその内容をもとにグループワークを行った。グループワークには実践ソーシャルワーク塾にファシリテータ協力要請し、受講者の学習理解を深める工夫を行った。 講師:菊池健志氏(神奈川県保健福祉局)
初任者基礎研修 (7月・10月ウィリング横浜)	7月17日(土) 参加者:80名	講演「社会福祉士として歩みだすために～社会福祉士の意義と役割を学ぶ」講師:川上富雄氏(駒澤大学文学部教授)。講演を踏まえ「私の目指す社会福祉士像について」グループワークを行い、自己の社会福祉士像を明確にした。 また、県下各支部役員による支部活動紹介や、日本社会福祉士会の生涯研修制度についても説明をした。
	10月3日(日) 参加者:51名	講演「社会福祉の専門職とは何か～社会福祉士の倫理綱領・行動規範を通して考える」講師:菊池健志氏(神奈川県足柄上保健福祉事務所) 講演を踏まえ「私の目指す社会福祉士像について」グループワークを行い、自己の社会福祉士像を明確にした。 グループワークにおいては、実践ソーシャルワーク塾の協力を得て実施した。また、県下各支部役員による支部活動紹介や、日本社会福祉士会の生涯研修制度についても説明をした。
公開シンポジウム「貧困問題に私たち社会福祉士はどう立ち向かうのか」 (ウィリング横浜)	9月18日(土) 参加者24名	基調講演「貧困と社会的排除—生活保護の課題」講師:清水浩一氏(明治学院大学社会学部教授)を踏まえ、シンポジウムを行った。シンポジスト:「生活保護の立場から」大山典宏氏(埼玉県福祉部)・「ハローワークの現場から」後藤洋一氏(神奈川県労働局)・「ホームレス支援の現場から」山本由紀子氏(とまり木)
面接技術 実践講座	2月20日(日)	「対人援助職としての対話」—あなたは本当に日々の業務の

(横浜市教育会館)	参加者:30名	中で傾聴ができていますかーをテーマに、日々の業務の振り返りや、ストレングスの視点に基づく技法を学ぶことを目標とした。 講師:伊東秀幸氏(田園調布学園教授)
スーパービジョンとは何かー現場で実践することを旨すー (ウィリング横浜)	12月12日(日) 参加者:20名	スーパービジョンの知識と技術を身につけ、援助者としての質や専門性の向上を目指し、現場で実践できることを目標とした。 講師:堀越由紀子氏(田園調布学園大学人間福祉学部教授)
共通基盤研修 (ウィリング横浜)	12月4日(土)5日(日) 参加者:67名	「社会福祉士がとらえる権利擁護」講師:宮内康二氏(東京大学特任教授)・「社会福祉士がとらえる福祉経営」講師:牧野史子氏(NPO法人理事長)・「社会福祉士がとらえる地域支援」講師:宮脇文恵氏(日本地域福祉研究所)・「社会福祉士がとらえる相談援助」講師:齊藤学氏(衣笠ホーム施設長)

7. 社会福祉士実習推進委員会

<概況>

2008年度に立ち上げた委員会は、高齢者・障害者・児童・生活保護・医療などの各分野の委員と社会福祉士養成校協会と行政のオブザーバーにより構成され、県内の社会福祉士の実習の推進や実習指導者の養成の課題について情報交換、検討しながら、ネットワーク作りを進めている。

2010年度の主な活動は実習指導者講習会についての広報、申込受付などの講習会の準備と実施、講習会修了者に対するフォローアップ研修を実施した。また実習を推進し、実習指導者の養成の課題を検討するために、県内実習受け入れ機関・施設及び実習指導者に対してアンケート調査を実施した。

(1) 実習指導者講習会の広報及びアンケート調査の依頼等

- ・ 会員向けニュースで実習指導者講習会開催要項配布(7月)
- ・ 県内社会福祉士養成校へ開催要項配布(7月):船水オブザーバーの協力で県内担当者宛送付
- ・ 横浜市社協障害福祉部会で説明(7/9):岩崎理事
- ・ 横浜市地域ケアプラザ分科会役員会で説明(7/16):岩崎理事
- ・ 横浜市児童福祉部会で説明(7/21):岩崎理事
- ・ 川崎市老人施設協議会で説明(7/21):西原委員長
- ・ 横浜市社協高齢福祉部会役員会で説明(7/22):岩崎理事
- ・ 横浜市地域ケアプラザ所長会で説明(7/23):岩崎理事
- ・ 川崎市障害福祉施設事業協会で説明(7/23):岩崎理事
- ・ 川崎市児童・乳児・母子福祉施設部会で説明(7/26):西原委員長
- ・ 横浜市社協高齢福祉部会で説明(7/28):岩崎理事
- ・ 県社協施設部会で説明(8月):中西事務局長
- ・ 医療機関へ説明(8月):逢澤委員
- ・ 県社協福祉タイムズに記事掲載(8月)
- ・ 県域の施設に講習会への職員派遣依頼とアンケート調査を郵送(8月)
- ・ フォローアップ研修について講習会参加者宛通知、会員向けニュース、HPで案内記事(9月)

(2) フォローアップ研修

- ・ 日程:11月6日(日) 参加者数:9名
- ・ 対象:2009年度までに実習指導者講習会修了した者、又は希望者
- ・ 内容:講義・演習 社養協報告 実習スーパービジョン 講師:村井美紀氏 社養協報告:船水委員

(3) 実習指導者講習会の開催

- ・ 日程:第1回 12月18日(土)~19日(日) 修了者数:147名
- 第2回 1月15日(土)~16日(日) 修了者数:150名

- ・対象:講習会ガイドラインに準じて、現に実習指導をしている人、指導予定で資格登録古い順の方
- ・内容及び講師 実習指導概論講義:菊池健志氏 実習マネジメント論講義:猪又康行氏
実習プログラミング論講義:石渕真理氏
実習スーパービジョン論講義・演習:杉山佳子氏、成田すみれ氏、西原留美子氏 逢沢詳子氏

(4) 推進委員会活動等

①推進委員会の開催状況(委員長 西原留美子)

- ・開催数:年2回(6/14・11/15)
- ・主な内容 第1回・委員の委嘱、事業計画
 - ・実習指導者講習会の開催と広報活動
 - ・実習受け入れ機関・施設及び実習指導者アンケート調査について
 - ・フォローアップ研修について
- 第2回・上半期事業報告(実習指導者講習会応募状況、フォローアップ研修報告、アンケート調査結果、各委員の活動報告と情報交換)
 - ・2011年度事業方針、予算、事業計画等

②打ち合わせ:開催数:年9回

(5) 日本社会福祉士会との連携

- ・実習指導者講習会開催支部連絡会に参加:西原委員長、菅野事務局次長(3/12延期→4/9開催)

8. 介護保険対策事業の実施

(1) ケアマネジメント委員会の開催

介護保険対策事業を実施するにあたり、ケアマネジメント委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。

計4回開催 10/4/22 7/23 9/23 11/25

(2) 研修会

①高齢ケアマネジメント研修

内容:「サービス優先アプローチからニーズ優先アプローチへ」

講師:齋藤学氏(衣笠ホーム 施設長)、新井仁子氏(横浜市福祉サービス協会事業推進課課長)

日程:2011年1月23日(日)13:30~16:30

場所:ウィリング横浜5階501号室 参加者:19名

②障害ケアマネジメント研修

内容:「うつ病の理解と適切な支援を学ぶ」

講師:田村綾子氏(日本精神保健福祉士協会 常任理事・研修センター長)

日程:2011年2月12日(土)13:30~16:30

場所:神奈川県社会福祉会館2階 第一会議室 参加者:39名

(3) 介護支援専門員準備講座の受託及び実施

①介護支援専門員試験受講準備講座(県社協主催)

参加者:308名

【介護支援分野】

平日コース:8月18日、8月24日 講師:山影彰大氏「介護保険制度導入の背景」「介護保険制度」

9月8日 講師:小嶋哲彦氏「ケアマネジメント」「居宅介護支援・介護予防支援・施設介護支援」
過去問題(介護保険関係、居宅介護支援)

土曜コース:8月28日、9月11日 講師:小泉昇氏「介護保険制度導入の背景」「介護保険制度」

9月18日 講師:小嶋哲彦氏「ケアマネジメント」「居宅介護支援・介護予防支援・施設介護支援」
過去問題(介護保険関係、居宅介護支援)

【保健医療サービス分野】

平日コース:8月31日、9月17日 講師:佐久間志保子氏、鈴木明氏「医療系サービス」「高齢者保険医療の基礎知識」「高齢者福祉の基礎」過去問題(医療問題、医療系サービス・社会福祉問題)

【福祉サービス分野】

平日コース：8月26日、9月7日 講師：石橋正道氏「居宅サービスおよび介護予防サービス」「地域包括ケアと地域密着型サービス」過去問題(福祉系サービス、地域包括ケア関連問題)

②介護支援専門員試験直前講座(本会主催)

- ・9月20日(土)9:50~16:20 海老名文化会館小ホール棟 参加者：42名
講師：石橋正道氏「介護保険制度論及び居宅支援サービス」「介護サービス分野について」
- ・10月3日(土)10:00~16:30 ウィリング横浜 12階(125~127号室) 参加者：83名
講師：山影彰大氏「介護保険制度論及び居宅支援サービス」「介護サービス分野について」

(3) 介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題の作成、頒布

介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題を本会にて作成し、都道府県16社会福祉士会及び8団体に等に1527部(神奈川分を含む)を提供し、本会の収益事業にも大きく貢献した。

問題作成委員14名

梅田滋、大竹一史、新井仁子、石橋正道、金井守、小嶋哲彦、佐久間志保子、齊藤学、鈴木明、成田すみれ、山影彰大、石井千麻、八巻環、小泉昇

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験模擬試験の実施

- ・9月23日(祝)9:45~16:30 ウィリング横浜 12階(126~127号室) 参加者：91名
模試問題の解説 成田すみれ、新井仁子、石橋正道

9. 社会福祉士国家資格の取得支援の推進

対策講座や、大学での対策講座を行うとともに、全国統一模擬試験を実施し、資格取得を支援した。また、講座の質の向上を図るため、講座実施毎に講座内容に関するアンケート調査を行った。

(1) 社会福祉士国家試験受験対策講座

- ・日程：全7日間(9/20(月)、9/26(日)、10/2(土)、10/3(日)、10/10(日)、10/17(日)、10/24(日))
- ・場所：ウィリング横浜・受講者数：90名

(2) 社会福祉士国家試験模擬試験

- ・日程：10月30日(土)10:00~15:35
- ・場所：ウィリング横浜・申込数 336名・受験者数 247名

(3) 大学の国家試験対策講座への講師派遣

新たに明治学院大学における対策講座への講師派遣を行った。(計5大学)

受講者数・講座開講日数(模試含む)・講師派遣延べ人数

	科目数	受講者数	日数	講師派遣延べ人数
関東学院大学	19	15	7	19
東海大学	19	51	5	19
東洋英和女学院大学	19	51	10	19
日本女子大学	19	31	7	19
明治学院大学	19	75	7	19

(4) 講師会の開催

今年度は1回開催した。

1回目：7月3日(土)県社会福祉会館 会議室

対策講座受講者の合格率向上に向けてのテキスト作成・講座の持ち方について検討した。

(5) 平成22年度社会福祉士国家試験 直前対策講座

日程：2011年1月8日(土)1講義60分6教科(苦手とされる科目を中心に)+ガイダンス

場所：ウィリング横浜・受講者：42名

(6) 合格者把握対策

合格発表時に氏名が公表されないことから、本会が開催した受験対策講座の受講生・模擬試験受験者・直前講座受講生等に受験番号をあらかじめ本会に通知していただき、合格把握後に入会の案内送付を行っ

た。番号通知を依頼した 340 名の内 86 名から回答があり、48 名の合格を確認した。

(7) 社会福祉士養成課程の見直しに伴う対策

平成 21 年度から社会福祉士養成課程の教育の見直しと国家試験のあり方が変わったことに伴い、講座開講の各大学を訪問し担当者とは打ち合わせを行い、講座のすすめ方について検討している。

10. 組織率向上と支部活動の振興

(1) 組織率の向上に向けた委員会

この数年、全国的にも下降傾向が目立ってきている会員組織率を上げることを目標に、退会の防止や入会の促進のための活動を行った。しかし、2010 年度末は 22.79% (2009 年度末 23.45%、2008 年度末 24.95%) と、低減傾向に歯止めはかかっている。

①入会の促進

- ・ 初任者基礎研修の受講料の免除

2010 年 6 月までに会員になると、「初任者基礎研修の受講料免除」(7 月初任者基礎研修申込者のうち対象者 64 名)の特典を設け入会促進を行い、一定の成果を得た。

実績: 前期 7/17 (土) 80 名、後期 10/3 (日) 51 名、計 131 名

- ・ 初任者基礎研修の義務付け

成年後見養成研修参加に際し、初任者基礎研修を必須にすることで入会促進に一定の効果をえた。

- ・ 初任者研修における組織向上委員会の説明

全国でも先駆的な活動をしてきた本会の歴史および本会の組織の概要について説明した。

実績: 前期 7/17 (土)、後期 10/3 (日)

- ・ 初任者研修後の懇親会

総会後に開催していた懇親会を初任者研修後に変更した結果、各回とも多くの参加者があった。

実績: 前期 7/17 (土) 60 名、後期 10/3 (日) 58 名

- ・ 初任者向けの実践発表会ぶらすの開催 8/21 (土) 実績: 39 名

初任者に本会の活動を知ってもらう機会として、2009 年度実践発表大会の中から 2 演題を選び、地域包括支援センター推進委員会の初任者研修と共催した。

- ・ 初任者フォローアップ

3 年以内の初任者の交流の場として、宿泊交流会を開催した。実績: 4 名 (内、1 名は非会員から入会)

日時: 12/11 (土) ~ 12 (日) 1 泊 2 日 場所: 江の島女性センター 対象: 3 年以内の新人

広報が遅く参加者が少なかったが、初任者だけの宿泊という密度の高い交流ができた。

また、非会員の入会があった。

②組織向上委員会

- ・ 開催日数: 年 4 回 (5/23・6/13・10/3・11/27)

- ・ 開催場所: ウィリング横浜 他

- ・ 検討内容: 支部組織向上委員会活動の情報交換、事業方策の検討、委員会年間計画、テーマ検討 (魅力ある会づくり、入会促進・退会防止)、支部役員連絡会議、他委員会との連携 他

- ・ 支部組織向上委員会の取組みを共有することにより、支部役員の選任や支部活動の工夫、パンフレット・アンケートの情報交換ができた。

- ・ 支部主催研修を共有することにより、他支部の参加者が増え、支部主催研修の参加者数が増加傾向にあることがわかった。

③2010 年実践発表大会開催

- ・ 会員の活動報告 (発表) 通して入会促進及び活動へ積極的な参加を目的に大会を実施し、ある程度の効果を得た。

- ・ 支部組織向上委員および実行委員により、大会に向けて準備を行った。

- ・ 実行委員会開催日数: 年 2 回 (9/25・1/22) 場所: ウィリング横浜、神奈川県社会福祉会館

- ・ 大会実施日: 2010 年 2 月 19 日 (土) 場所: ウィリング横浜

- ・ 発表 10 題 参加者数 90 名

- ・ 次年度も継続して開催 (2012 年 2 月 18 日 (土) ウィリング横浜)

④その他

- ・支部役員合同連絡会議への出席 開催日：9/5（日）、2/20（日）
1996年～の加入者数(全国、県支部)のデータを参考に会員増の方策検討や組織向上等について意見交換を行った。
- ・将来ビジョン検討意見交換会 開催日：9/26(日)
組織向上は、本会の将来に関わる課題として、意見交換に参加した。

(2) 支部活動の振興

①横浜支部(支部長：菅野善也)

○ 会議等の開催状況

- ・支部全体会：2010年4月25日 会場：中区福祉活動拠点
「児童虐待について」 講師：守田洋氏（横浜北部児童相談所所長）
- ・支部役員会：計12回(毎月1回開催)
- ・研修会・定例会：計5回(4・6・10・11・12月)

○ 会員への呼びかけ実績 250名 回数：MLにより随時

○ 月別事業報告

4月：役員会・総会	11月：役員会、研修会
5月：役員会	12月：役員会、実践研究講座
6月：役員会	1月：役員会、実践研究講座
7月：役員会・研修会 8月：役員会	2月：役員会、研究発表大会
9月：役員会	3月：役員会、後見的支援制度セミナー
10月：役員会	有志による相談支援ボランティア

②川崎支部(支部長：平山みちる)

○ 会議等の開催状況

- ・支部全体会：2010年6月12日 会場：福祉パルたかつ
- ・「自閉症児の父親として私にできること」講師：新保浩氏
- ・支部役員会：計4回(4月、6月、10月、1月)
- ・研修会・定例会等：計3

○ 会員への呼びかけ実績：269人 呼びかけ月 5月 7月 9月 1月

○ 月別事業報告

4月：役員会①	10月：例会①「DV被害者の現状と支援」 役員会③
5月：ぱあとなあ活動者の集い①	11月：ぱあとなあ活動者の集い④
6月：総会、研修会、役員会②	1月：役員会④ぱあとなあ活動者のつどい⑤
7月：ぱあとなあ活動者の集い②	3月：例会③
8月：例会「薬物依存の理解と支援」	「子ども虐待への対応と支援のための連携」
9月：ぱあとなあ活動者の集い③	

③横須賀三浦支部(支部長：齊藤学)

○ 会議等の開催状況

- ・支部全体会：2010年5月15日 20名参加 会場：横須賀市ウェルシティ
「地域に根ざす専門職」 講師：山崎美貴子氏
- ・支部役員会：計7回(4月、6月、8月、10月、12月、1月、2月)
- ・研修会・定例会：計3回(7月・10月 定例会、1月車座集会)

○ 会員への呼びかけ実績：延べ990人 回数 4回 呼びかけ年月：各定例会、研修会前

○ 月別事業報告

4月：第1回役員会	9月：県士会・支部長会議
5月：支部定例総会	10月：第4回役員会 第2回定例会
6月：第2回役員会	12月：第5回役員会
7月：第1回定例会	1月：車座集会・第6回役員会
8月：第3回役員会	2月：第7回役員会、県士会実践発表大会

④湘南東支部（支部長：小野田潤）

- 会議等の開催状況
 - ・ 会員全体会：2010年4月17日 会場：藤沢市労働会館
「成年後見制度の実際～地区ぱあとなあ活動について～」 講師：内藤美幸氏
 - ・ 支部役員会：計7回（5月、7月、9月、11月、1月、2月、3月）・準備会：計1回（4月）
 - ・ 研修会・定例会：計6回（6月、8月、10月、12月、2月）・呼びかけ実績 約15名
- 月別事業報告

4月：支部総会 5月：支部役員会員定例会・地区ブロックぱあとなあ準備会 6月：施設見学会・研修会（湘南西支部合同） 7月：支部役員会員定例会 8月：車座集會、隣接六士業懇親会 9月：支部役員会員定例会、地区ブロックぱあとなあ情報交換会	10月：寒川町ふれあいスポーツ祭り福祉相談参加、隣接六士業相談会 11月：支部役員会員定例会、地区ブロックぱあとなあ情報交換会 12月：支部勉強会、六士業懇親会 1月：支部役員会員定例会、地区ブロックぱあとなあ情報交換会 2月：支部勉強会、支部役員会定例会 3月：支部役員会員定例会
--	--

⑤湘南西支部（支部長：小島操子）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部全体会（総会）：2010年5月16日 64名参加 会場：ひらつか市民活動センター
一般講座（地域にも呼かけ）「更生保護～刑務所出所者の支援～」
講師：横浜刑務所 松本課長 社会福祉士職員2名・山下理事によるシンポジウム
 - ・ 支部役員会 開催 計12回（4～3月）
 - ・ 準備会：計5回（4・8・9・10・1月） ・研修会定例会等 開催 計12回（4月～3月）
- 会員への呼びかけ実績：154名 5回呼びかけ 県広報誌5・7・11・1・3月
他にE-mailにて随時呼びかけ 県士会HPに掲載

○ 月別事業報告

4月：総会準備（印刷・発送）ミニ定例会 5月：総会・公開講座（更生保護について） 6月：支部活動紹介パネル展示（平塚市役所） 施設見学会（湘南東合同）・交流会 7月：ぱあとなあ支部勉強会・定例 9月：ぱあとなあ支部合同研修会 10月：10月定例会（台風により中止）	11月：定例会・なるほど講座…「老いを楽しもう（在宅医療の現場から）」 講師：昭和クリニック 医師 上野善則氏 12月：施設見学会「横浜刑務所見学」、ミニ定例会連絡会 1月：定例会 12月の見学の報告会 2月：定例会 更生保護施設DVD上映「～再出発を支える人たち～」 3月：ぱあとなあ支部合同研修会
--	--

⑥県央支部（支部長：小島祐行）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部全体会：2010年5月16日 36名参加 会場：海老名市立総合福祉会館
「社会福祉士による地域づくりの取り組み～孤独死防止の相談活動から」
講師：佐々美弥子氏（ささ社会福祉士事務所）
 - ・ 支部役員会：計12回（毎月開催）・研修会・定例会：計3回（5月、12月、2月）
会員への呼びかけ実績：年6回県士会広報による各種支部事業への参加呼びかけ
全会員に対しダイレクトメールによる総会等への参加呼びかけ（毎月）
- 月別事業報告

4月：定例会、実践プロジェクト事業	社会福祉士地域住民啓発事業（座間市ふれあいフェスティバルへの参加）
5月：定例会、実践プロジェクト事業、総会、講演会、交流会	10月：定例会、実践プロジェクト事業
6月：定例会、実践プロジェクト事業	11月：定例会、実践プロジェクト事業、フレッシュ社会福祉士交流会
7月：定例会、実践プロジェクト事業、学習座談会、座間市成年後見相談	12月：定例会、研修会、大和市車座集会
8月：定例会、実践プロジェクト事業	1月：定例会、座間市成年後見相談
9月：定例会、実践プロジェクト事業、	2月：定例会、宿泊研修会、交流会
	3月：定例会、座間市成年後見相談

⑦相模原支部（支部長：小針淳一）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部全体会：2010年5月29日 38名参加 会場：相模原市立環境情報センター「発達障害とはなにか～住みよいまちづくりに向けて～」
講師：発達障害支援センター かながわ A（エース）吉澤宏次氏
 - ・ 支部役員会：計7回（4月 7月 9月・10月・11月・2月・3月 開催）
- 研修会・定例会：計3回（7月・10月・12月）3月は中止
- 会員への呼びかけ実績：チラシ等を用いた呼びかけ 5回（4月 6月 9月 11月 2月に実施）
- 月別事業報告

4月：役員会	11月：役員会・市成年後見セミナーへ協力
5月：役員会、全体会	12月：市研修会市成年後見セミナーへ協力
7月：研修会	1月：市成年後見セミナーへ協力
9月：役員会	2月：役員会
10月：役員会・研修会	3月：役員会

⑧西湘支部（支部長：瀬戸知樹）

- 会議等の開催状況
 - ・ 支部全体会（総会）：2010年4月24日 会場：川東タウンセンターマロニエ
 - ・ 支部役員会：計7回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）
※役員以外の会員も参加できる情報交換会として実施
 - ・ 準備会：計2回（10月）ホームレス実践研修の打ち合わせ・現地挨拶（開催年月 10月）
 - ・ 研修会・定例会：計14回
- 会員への呼びかけ実績
 - ・ 役員会・情報交換会についての呼びかけ メールにて59名×7回
 - ・ 研修会（2回）・車座集会・全体会についての呼びかけ 郵送等にて約134名×4回
- 月別事業報告

4月：全体会	11月：第4回役員会・情報交換会
5月：第1回役員会・情報交換会	12月：ホームレス研修学習編、ホームレス研修実践編
7月：第2回役員会・情報交換会、アンケート送付	1月：第5回役員会・情報交換会
8月：実践報告・権利擁護研修「社会福祉士の力を高めよう」	2月：山北町成年後見市民向けセミナー
9月：第3回役員会・情報交換会	3月：第6回役員会・山北町成年後見市民向けセミナー反省会
10月：市民向け後見セミナー実行委員会、ホームレス研修の準備会	

1 1. 相談事業の実施

(1) ホームレス自立支援相談事業

厚木市より委託を受け、ホームレス自立支援相談事業を実施した。事業推進の委員会設置要綱に沿って委員会が主体的に活動し、巡回相談を行った。

①ホームレス自立支援相談

・ホームレス年間訪問件数 実施回数：36回 ・ホームレス自立支援巡回相談員 12名

②ホームレス自立支援相談事業推進委員会

・開催日数：15回・開催場所：海老名市総合福祉会館、神奈川県社会福祉会館等
・内容：巡回相談等打合せ、課題の整理、報告の年間まとめ等

(2) ホームレス全国調査への協力

・平塚市および厚木市へ調査員の推薦を行った。厚木市8名、平塚市8名

(3) 高齢者ホームレスの生活実態調査の実施

公益信託中西茂雄高齢者福祉基金から助成金の配分を受け「相模川流域（圏域）の高齢者ホームレスの生活実態調査」を実施した。

・対象地域：相模川流域（相模原・厚木・愛川・海老名・寒川・茅ヶ崎・平塚）
・調査員：12名、調査日数：延べ28日間

(4) ホームレス自立支援相談員研修の実施

・相談員研修 講師：一般社団法人ねこのて（社会福祉士）、厚木パトロール、当事者
会場：YMCA 健康福祉専門学校、参加者24名
・相談拠点の見学を行い、他機関の相談員との意見交換を実施した。
見学先：東京都江戸川区 NPO 法人自立支援センター「ふるさとの会」
一般社団法人ねこのて 自立支援住宅「わかば荘」

1 2. 広報活動の推進

(1) 広報誌「福祉士かながわ」の発行

① 第54号 2010年5月15日発行

巻頭言：「会長就任あいさつ」

2009年度第2回通常総会報告、総会講演「専門職における倫理」 新任理事紹介

② 第55号 2010年7月15日発行

巻頭言：「つなぐ ささえる まもる ～社会福祉士として視野を広げましょう」

2010年度第1回通常総会報告、総会講演「どうすれば権利擁護を担う真のプロフェッショナルになれるか：社会福祉士が果たすべき使命と役割」

③ 第56号 2010年9月15日発行

巻頭言：「社会福祉士として、ソーシャルワーカーとして ～相談専門職の活動とは～」

将来ビジョン検討会による検討状況について

④ 第57号 2010年11月15日発行

巻頭言：「新公益法人設立に向けて ～本会が新たな展開を進めるために～」

司法福祉、更生保護分野への取り組みについて ～触法の高齢者・障害者支援～

⑤ 第58号 2011年1月15日発行

巻頭言：「会長新年あいさつ」

新公益法人設立に向けて、神奈川県地域生活定着支援センターの活動がスタート
支部活動への招待状（二順め）

⑥ 第59号 2011年3月15日発行

巻頭言：「新たな時代に向けてチェンジ ～社会福祉士会の転換期こそ会員一人ひとりの参加を」
新公益法人シンポジウム開催報告

(2) ホームページの企画・運営

- ・外部業者に委託し、ホームページ一新を図った。会員専用ホームページの新設、求人情報、研修案内等随時掲載を行った。

(3) 広報委員会の開催

- ・年間6回広報委員会を開催し、編集会議・情報交換を行った。
- ・県土会事務局長の出席により、緊密な連携を図った。

(4) その他

- ・正副会長会議への担当理事陪席により、的確な情報収集を行った。

13. 組織の運営と整備

(1) 通常総会の開催

① 第1回通常総会の開催

日時:2010年5月22日(土)13:30~17:10

場所:神奈川県社会福祉会館

参加者数:1,171名(出席者数88名+委任状による出席者数:1,083名)会員総数2,084名

議長:梅田滋、齊藤学、議事録署名人:大埜嵩、小野田潤

来賓:神奈川県保健福祉局地域保健 福祉部地域保健福祉課 課長 市野澤国冠氏

横浜市健康福祉局福祉保健課 福祉保健課長 課長 深川敦子氏

社団法人成年後見センターリーガルサポート神奈川県支部 副支部長 武山和弘氏

一般社団法人神奈川県介護福祉士会 会長 野上薫子氏

神奈川県精神保健福祉士協会 会長 武津美樹氏

<議案>以下について承認した。

第1号議案 2009年度(社)神奈川県社会福祉士会事業報告(案)

第2号議案 2009年度(社)神奈川県社会福祉士会第3次補正予算(案)

第3号議案 2009年度(社)神奈川県社会福祉士会決算報告(案)

第4号議案 2010年度(社)神奈川県社会福祉士会第1次補正予算(案)

第5号議案 (社)神奈川県社会福祉士会職員就業規程の一部改正規程(案)

第6号議案 (社)神奈川県社会福祉士職員給与規程の一部改正規程(案)

第7号議案 (社)神奈川県社会福祉士会非常勤職員就業規程の一部改正規程(案)

第8号議案 (社)神奈川県社会福祉士会成年後見業務監督委員会・会員不祥事検証専門委員会設置要領(案)及び(社)神奈川県社会福祉士会宣言書(案)

② 第2回通常総会の開催

日時:2011年3月21日(月・祝)14:30~17:00

場所:ウィリング横浜5F501~502

出席者数:1175名(出席者74名+委任状による出席者1,234名)会員総数2,264名

議長:成田すみれ、古畑英雄、議事録署名人:菅野善也、吉田綾

来賓:震災の影響のため来賓なし

<報告>以下について報告した。

1.(社)神奈川県社会福祉士会将来ビジョン検討会検討事項

2.神奈川県地域生活定着支援センターの設置

3.神奈川県ホームレス等及び生活困窮者支援事業委託

<議案>以下について承認した。

緊急議案1 震災支援活動支援金に対する拠出金

緊急議案2 ホームレス等及び生活困窮者支援事業委託

第1号議案 2010年度(社)神奈川県社会福祉士会第2次補正予算(案)

第2号議案 2011年度(社)神奈川県社会福祉士会事業計画(案)

第3号議案 2011年度(社)神奈川県社会福祉士会予算(案)

第4号議案 (社)神奈川県社会福祉士会役員選出規程改正(案)

第5号議案 (社)神奈川県社会福祉士会生涯研修センター設置規程(案)

第6号議案 (社)神奈川県社会福祉士会職員・非常勤就業規程の改正(案)

第7号議案 (社)神奈川県社会福祉士会支部設置規程の改正(案)

第8号議案 (社)神奈川県社会福祉士会新公益社団法人または一般社団法人への移行選択

(2) 理事会の開催(理事会は理事総数 18 名・過半数出席にて会成立)

①第1回(2010年4月24日(土)10:00~12:00)ウィリング横浜5階503

出席:理事18、書面表決1、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

①09年度の監事監査②09年度社団法人神奈川県社会福祉士会第1回通常総会講演講師とテーマ③会員除名に関して④新事務所展望⑤オンラインバンキング利用、三菱東京UFJ銀行への一般会計口座開設⑥研修企画担当者情報交換会⑦研修体系化委員会中間報告⑧厚木市ホームレス相談事業の契約⑨社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会評議員候補者推薦⑩神奈川県障害者介護給付費等不服審査会委員の推薦⑪~⑭神奈川県介護福祉士会ほか他団体総会臨席の件

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②09年度本会第3次補正予算(案)③09年度本会事業報告(案)④09年度本会一般会計及び特別会計決算(案)⑤10年度本会第1次補正予算(案)⑥支部活動費申請及び自主活動費申請審査⑦職員就業規程・職員給与規程一部改正、関連細則制定⑧委員会・事業部会委員委嘱

⑨関東甲信越ブロック理事の選出

<協議事項>以下について了承した。

①高齢者虐待対応現任者標準研修実施計画②ソーシャルワーカー前後のイベント出席
③「平成22年度県民からの政策提案制度」制作提案等の募集の件④支部総会の日程および支部総会理事出席
⑤2月理事会・支部役員会議日程変更

②第2回(2010年5月22日(土)9:30~11:30)神奈川県社会福祉会館第2会議室

出席:理事18、書面表決2、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

①不祥事案件②新事務所の展望③会計報告④各委員会報告⑤各支部総会報告及び諸団体総会等来賓出席⑥日本社会福祉士会第1回理事会報告⑦ソーシャルワーカー関連イベント内容案および担当理事⑧「福祉のしごとフェア 2010」共催名義

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②支部活動費申請の審査③各委員会の委員委嘱④「成年後見業務監督委員会・会員不祥事検証専門委員会」の件⑤「不祥事にもなう緊急対応のための経費支出」の件

<協議事項>以下について了承した。

①支部総会日程と総会への理事出席 ②2月理事会・支部役員会議の会場候補 ③全国生涯研修委員会委員の「登録」要請(更新) ④日本士会第3期高齢者虐待対応専門研修アドバイザーコース受講の「支部推薦」

③第3回(2010年6月26日(土)10:00~12:15)ウィリング横浜多目的室

出席:理事11、書面表決9、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

全国大会(秋田)②関ブロ連絡協議会及び本部役員推薦③ソーシャルワーカー関連イベント④高齢者虐待対応現任者標準研修関連資料集の送付と今後の取り扱い⑤5月末日会計報告⑥HP(見積書、コンテンツ、個人情報保護指針)⑦総務委員会事項担当理事協議会記録公表および決定事項の実施⑧各委員会・本部報告⑨各支部総会報告および諸団体総会等来賓出席⑩県社協ケアマネ試験実施本部よりの書類審査の委託事業受注⑪成年後見制度に係る情報交換会の出席⑫神奈川成年後見サポートセンター創立10周年記念公開シンポジウムの件

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②賛助会員入会③支部活動費・自主活動補助金申請審査④「(規程第8号)支部設置規程改正案」⑤各委員会の委員委嘱⑥「成年後見業務監督・会員不祥事検証専門委員会」設置⑦第三者評価事業業務の日当内規改定

<協議事項>

①理事会決定事項の会員への公表②共同募金助成「成年後見制度地域啓発相談事業」の本年度の具体的実施地区③第1回福祉のしごとフェア2010「福祉施設等就職相談会」相談員の派遣④新入会の会員情報(名簿)扱い⑤自殺対策の取り組み⑥神奈川県社会福祉審議会委員の推薦⑦他団体後援⑧ソーシャルワーカー中央イベントへの動員協力

④第4回(2010年7月17日(土)10:00~12:00)ウィリング横浜123

出席:理事16、書面評決4、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

①ソーシャルワーカーデー中央集会・本県開催関連座談会②日本士会 高齢者虐待対応現任者標準研修③6月末日会計報告および各委員会の会計担当委員の確認④各委員会・本部報告⑤新HP 運用開始⑥本会将来ビジョン検討会・意見交換会開催新公益法人準備委員会における検討の状況⑦県社協委託ケアマネ書類審査員への通知⑧初任者基礎研修及び新入会者歓迎懇親会⑨事務局スペースの今後

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②相談事業委員会委員委嘱③自主活動補助金申請④『かながわ子育て応援団』認証取得に向け育児休業細則一部改正

<協議事項>以下について了承した。

①日本士会 公益社団法人移行作業委員会への委員推薦依頼②日本士会 実践研究アンケート③第5回理事会・第1回支部役員会、役員研修会講師④会員名簿の扱い(情報開示/個人情報保護)方針、メールBCC発信提案⑤共同募金助成「成年後見制度地域啓発相談事業」の本年度実施地区検討状況⑥(不祥事案件関連)成年後見監督・検証専門委員会に元会員聴取記録開示許諾⑦子ども家庭福祉、リーガルソーシャルワーク、スクールソーシャルワーク、自殺対策取り組み⑧神奈川県社協主催行事協力

⑤第5回(2010年9月5日(土)10:00~12:00)海老名市総合福祉会館 談話室

出席:理事16、書面評決4、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

第4回理事会議事録②日本社会福祉士会理事立候補、推薦③(社)日本社会福祉士会組織改編アンケート回答④高齢者虐待対応専門職チームの取り組み調査依頼回答⑤スクールソーシャルワーカーに係るアンケート回答⑥ソーシャルワーカーデー中央集会、本県開催関連座談会⑦不祥事案件状況

7月末日会計報告および各委員会の会計担当委員の確認⑨各委員会・本部からの報告⑩神奈川県社会福祉士会将来ビジョン検討会・意見交換会の開催予定⑪新ホームページ運用状況⑫事務局スペース(拡張の完了)⑬福祉のしごとフェア2010「福祉施設等就職相談会」相談コーナー相談員派遣

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②自主活動補助金申請(子ども家庭福祉研究会)③総務委員会委員委嘱

④研修委員会委員委嘱

<協議事項>以下について了承した。

①共同募金助成「成年後見制度地域啓発相談事業」の本年度実施地区調整②来年度共同募金助成「成年後見制度地域啓発相談事業」の取り組み③神奈川県地域生活定着支援センター事業への県士会としての取り組み④~⑦本年度「医療・健康フェスティバル」他後援名義使用依頼⑧「かながわ成年後見推進センター関係機関連絡会」参加者の推薦⑨横浜生活あんしんセンター業務監督審査会委員の推薦⑩普及啓発講演会「いきるを支える」実施に伴う相談員派遣⑪「介護の日」記念イベントの開催に伴う協力

⑥第6回(2010年11月3日(土)10:00~12:00)ウィリング横浜多目的室

出席:理事16、書面表決4、事務局2名

<報告事項>以下について了承した。

①日本士会「2010年度支部長会議」②日本士会「住居および就労不安定者支援に関するアンケート回答」

③日本士会「介護の日」「先輩職員に聞くコーナー」への出演者推薦④第5回理事会議事録

⑤9月末日会計執行状況報告⑥委員会、事業部会、本部からの報告⑦共同募金助成「成年後見制度地域啓発相談事業」の開催日程(本年度・来年度)⑧神奈川県地域生活定着支援センター(公募情報・第6回勉強会)⑨県士会主催の共通基盤研修への手話通訳者の提供⑩不祥事案件の状況⑪(財)全日本仏教尼僧法団「子ども福祉助成」応募要項⑫「かながわ子ども・子育て支援活動交流フォーラム」の開催

<審議事項>以下について承認した。

①入退会の審査②新公益法人制度への対応及び連合体移行③規程第5号 費用弁償規程第3条(3)の食事の扱い④委員委嘱

<協議事項>以下について了承した。

①日本士会よりの本年度「入会促進キャンペーン」の取り組み要請②日本士会「住居および就労不安定者支援に関するアンケート」③日本士会「居住地のない生活保護受給者への支援について」の検討状況

③日本士会主催スクールソーシャルワーク研修参加希望者への支部推薦

⑤日本士会スクールソーシャルワーク支部担当者の届け出⑥神奈川県社会福祉士会将来ビジョン検討会「緊急提言」⑦来年度事業計画・予算計画の提出⑧研修システム(体制)の見直し及び生涯研修センターの設置(案)⑨来年度新人歓迎会の開催時期のあり方⑩こころサポーター養成研修開催に伴う後援

⑪本年度「相模原市成年後見市民講座」に係る共催名義使用等の依頼⑫福祉のしごとフェア 2010「福祉施設等就職相談会」相談コーナー相談員の派遣⑬本年度「川崎市成年後見制度普及啓発シンポジウム」後援名義使用依頼⑭神奈川県立七里ガ浜高等学校「福祉入門講談」後援名義使用依頼

⑦第7回(2010年12月4日(土)15:00~17:00)横浜市健康福祉総合センター902

出席:理事14、書面表決6、事務局2名

〈報告事項〉以下について了承した。

①日本士会「住居および就労不安定者支援に関するアンケート」②第6回理事会議事録③10月末日会計執行状況報告④委員会、事業部会、本部からの報告⑤神奈川県地域生活定着支援センター開所

⑥地域生活定着支援センター開所に伴う事務局体制、クレバール利用変更⑦神奈川県「かながわ自殺総合対策指針(仮称)骨子案へのご意見」回答⑧県士会主催研修での手話通訳者の提供の原則または方針

⑨不祥事案件の状況について

〈審議事項〉以下について承認した。

①入退会の審査②日本士会綱紀委員会委員の推薦③支部活動費追加交付申請(湘南西支部)

〈協議事項〉以下について了承した。

①日本士会連合体移行の必要性と方法②日本士会2010年度スクールソーシャルワーカー活用事業に関する要望活動③新公益法人移行(新公益法人準備委員会の検討)④2011年度事業方針、事業計画および重点事業

⑤2011年度神奈川県社会福祉士会事業計画・予算計画⑥2月支部役員会準備見通し、3月総会講演講師見通⑦高齢者虐待対応標準研修実施⑧研修スタッフの昼食について

⑧第8回(2011年1月29日(土)9:30~11:55)ウィリング横浜多目的室

出席:理事18、書面表決2、事務局2名

〈報告事項〉以下について了承した。

①ビジョン検討会より報告②不祥事案件への対応③第7回理事会議事録④平成22年12月分の会計報告⑤2011年度各委員会事業部会予算・事業計画の査定結果⑥各委員会からの報告⑦地域生活定着支援センター関連情報⑧名義後援依頼と回答⑨就職相談会担当

〈審議事項〉以下について承認した。

①入退会の審査②支部活動費の追加申請について③定着支援センターネットワーク委員会(準備会)設立・運営要綱(案)④定着支援センター業務監督委員会設立・運営要綱(案)⑤定着支援センター非常勤職員フレックスタイム制に関する細則⑥職員就業規程(規程第3号)、非常勤職員就業規程(規程第4号)の変更・追加⑦新公益法人設立委員会設置要綱(案)⑧成年後見業務監督委員会2011年度委員の推薦

⑨本会役員選出規程(案)⑩本会生涯研修センター設置規程(案)⑪本会支部設置規程の改正(案)

⑫日本社会福祉士会連合体への加入⑬総会議事(案)について

〈協議事項〉以下について了承した。

①2011年度事業計画(案)および重点事業(案)②2011年度予算計画(案)③2011年度第2回総会における基調講演テーマと講師④総会までのスケジュール⑤支部役員連絡会(2月20日開催)⑥神奈川県ホームレス等及び生活困窮者支援事業

⑨第9回(2011年2月20日(日)13:00~15:15)プロミティふちのべA会議室

出席:理事14、書面表決6、事務局2名

〈報告事項〉以下について了承した。

①第8回理事会議事録②平成22年度第2回通常総会と学習会講師③平成23年1月分の会計報告各委員会からの報告④地域生活定着支援センター関連情報⑤高齢者虐待対応標準研修のための「講師予定者研修会」受講者⑦就職相談会(2月9日開催)⑧関東甲信越ブロック協議会(3月12日)

⑨神奈川県公営住宅指定管理者選定外部評価委員会の委員推薦

〈審議事項〉以下について承認した。

①入退会の審査②本会2010年度第2回補正予算(案)③(社)神奈川県社会福祉士会2011年度事業計画(案)④本会2011年度予算(案)承認の委任⑤神奈川県ホームレス等及び生活困窮者支援事業委託⑥日本社会福祉士会連合体への加入⑦2011年度第2回通常総会議事(案)

〈協議事項〉以下について了承した。

- ①支部役員連絡会議の開催次第の確認と進行②3月21日(祝・月)の総会前の理事・議長団打合せ
- ③名義後援関係：第20回在宅医療・介護セミナー後援・PRのお願い

⑨第9回(2011年3月5日(土)13:00~15:30)ウィリング横浜503

出席：理事16、書面表決4、事務局2名

〈審議事項〉以下について承認した。

- ①入退会の審査②ばあとなあ神奈川運営委員会委員委嘱③横須賀三浦支部の活動費追加申請

〈報告事項〉以下について了承した

- ①第9回理事会議事録②各委員会からの報告(2月20日以降の動きがあった委員会のみ)

〈協議事項〉以下について了承した。

- ①2010年度第2回通常総会(3月21日開催)の役割分担②2011年度5月総会基調講演の講師案
- ③2011年度理事会日程案④2011年度役員研修会の開催日程及び講師案

(3) 正副会長会議、監事監査、支部役員連絡協議会の開催

①正副会長会議

理事会討議事項及び重要案件について会議を行った。

2010年4月20日、5月14日、7月12日、8月30日、9月1日、10月4日、11月29日、12月1日
2011年1月21日、1月25日、2月14日、2月22日、3月28日

②監事監査の開催(2010年4月22日(木)19時~21時)県社会福祉会館第2会議室

(4) 支部役員連絡会議

①第1回(2010年9月5日(日)13:15~15:15)海老名市総合福祉会館会議室(理事会及び役員研修会と同日に開催)

出席者：会長、副会長、理事：各支部役員、事務局

〈議題〉 ①神奈川県社会福祉士会委員会活動について②支部活動費について③2011年度地域啓発事業の実施地区について④意見交換⑤会計連絡⑥2010年度支部会計報告及び2011年度分申請について⑦その他

②第2回(2011年2月20日(日)15:15~17:00)プロミティふちのべ2階A会議室(相模原市一理事会と同日に開催)

出席者：会長、副会長、理事：支部役員、事務局

〈議題〉 ①神奈川県社会福祉士会委員会活動について②神奈川県地域生活定着支援センターの現況について③2012年度の成年後見地域啓発セミナーの実施地区について④公益認定法人の取得について⑤生涯研修センター設置の動向について⑥支部の現状報告と意見交換 その他

(5) 会員の加入状況 会員数 2,202名、組織率 22.79%(2011年3月末現在)

- ・神奈川の会員：実質145名の増(2010年度末2,057名、昨年度実績115名増)
- ・本年度の会員の逝去：1名
- ・神奈川県登録者数累計：9,662名(2011年2月末)
- ・神奈川県合格者数累計：9,841名(第1回~第23回まで)
- ・全国合格者数累計：148,603名(第1回~第23回まで)
- ・全国登録者数累計：134,331名(2011年2月末)
- ・全国会員数：31,677名(2011年3月末の組織率23.58%)

・社団法人化後の会員加入の推移 ※加入数は退会等を差引いた数字を表す

データは主として日本社会福祉士会統計による

年次	加入(退会・転出)	会員現員数	組織率	全国平均
2001.3末	150(-5)	698	39.39%	(41.78%)
2002.3	161(-8)	859	38.23%	(39.91%)
2003.3	171(-22)	1030	36.54%	(37.18%)
2004.3	163(-33)	1193	34.20%	(34.19%)
2005.3	143(-32)	1336	31.04%	(31.35%)
2006.3	183(-30)	1519	29.71%	(29.65%)
2007.3	156(-54)	1675	28.26%	(28.51%)
2008.3	102(-75)	1777	26.22%	(26.85%)

2009.3	165(-95) ※転出 29、退会 66	1942	24.95%	(25.66%)
2010.3	115(-107) ※転出 26、退会 81	2057	23.45%	(24.23%)
2011.3	259(-114) ※転出 29、退会 85	2202	22.79%	(23.58%)

(神奈川県合格者内訳)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
24	34	52	70	76	81	97	156	180
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
201	325	390	445	532	675	725	793	779
第19回	第20回	第21回	第22回	第23回				
803	897	920	804	782				

支部別会員数(2010年3月末)

支部名	人数	%	支部名	人数	%
横浜	851	37.4%	県央	236	10.7%
川崎	265	12.0%	相模原	166	7.5%
横・三	222	10.1%	西湘	128	5.8%
湘南東	188	8.5%	総合計	2202	100.0%
湘南西	174	7.9%			

14. 他団体との連携

(1) 日本社会福祉士会等の委員等の推薦と参加

【日本社会福祉士会 委員等関係】

理事：小堀和宏、平田美智子

代議員：成田すみれ、高島さち子、本多洋実、平山みちる、齊藤学、小泉昇、菅野清、菅野善也

委員会：公益社団法人移行検討作業委員会・菅野清、国際委員会・平田美智子、秋山智久、綱紀委員会・秋山智久、成年後見委員会・齋藤憲磁、西原留美子、権利擁護事業委員会施設内虐待班・鈴木敏彦
地域包括支援センター支援委員会・小堀和宏、中澤伸、ホームレス支援委員会・西山高昭、
滞日外国人支援委員会・坪田由紀子、基礎・共通研修課程整備委員会・山崎智美

【市町村・他団体委員等】

平塚市障害者自立支援市町村審査会委員：湯川智子

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会 地域福祉権利擁護事業審査会委員：畑武子

伊勢原市介護認定審査会委員：古川直子

神奈川県障害者介護給付費等不服審査会委員：岡本均

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会評議員：小泉八重子

開成町高齢者保健福祉事業運営協議会委員：山本玲子

NPO法人神奈川県介護支援専門員協会 地域連携委員会地域包括部会委員：八巻環

葉山町社会福祉協議会 日常生活自立支援事業審査会委員：梅田滋

神奈川県社会福祉審議会委員：小泉八重子

横浜生活あんしんセンター業務監督委員会審査委員：尾亦恒夫

清川村社会福祉協議会日常生活自立支援事業契約締結審査会委員：那須三郎

小田原市地域包括支援センター運営協議会委員：鈴木等

(2) 他団体・社会福祉士養成校との連携

<他団体式典等>

4月1日 横浜弁護士会懇親会：会長本多洋実、事務局長中西一郎

- 4月6日 学校法人鶴嶺学園入学式:副会長小泉八重子
 5月16日 一般社団法人神奈川県介護福祉士会総会:副会長小泉昇
 4月26日 神奈川県医療社会事業協会総会:副会長小泉昇
 5月15日 横浜市介護支援専門員連絡協議会:理事八巻環
 6月27日 神奈川県精神保健福祉士協会総会:副会長小泉昇
 6月22日 NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター総会:事務局長中西一郎
 10月16日 第23回神奈川県里親大会:会長本多洋実
 3月13日 神奈川県立福祉大学卒業式:副会長菅野清

(3) 理事・監事・相談役の現況

会 長 本多洋実

副 会 長 小泉八重子 小泉昇 菅野清

理 事 池永康子 杉山幸雄 大淵義博 新井仁子 佐藤雅美 岩崎晴子 八巻環
 山崎智美 吉田勝利 内藤美幸 重村由美子 佐々美弥子 西山元弘 平岡祐二
 山影彰大 山下康

監 事 菊池健志 山口正一

相 談 役 高島さち子

<職員状況>

2010年11月末まで <事務局>

事務局長:中西一郎

事務局次長:菅野美和子

常勤職員:鷺見美貴子

権利擁護事業専門員:吉田 綾

アルバイト:金子 愛

2010年12月～

<事務局>

事務局長代理:菅野美和子

常勤職員:鷺見美貴子

権利擁護事業専門員:吉田 綾

アルバイト:金子 愛 (2011年1月～非常勤職員)

<神奈川県地域生活定着支援センター>

センター長:中西一郎

主任相談員:中山強

相談員:岡部眞貴子、山下康